

## <目 次>

### ◎ 2017 年度 GSK ジャパン研究助成募集要項

1. 研究助成の趣旨
2. 応募者の資格および条件
3. 助成対象外の研究
4. 応募方法
5. 募集期間
6. 助成金額および助成件数
7. 助成する研究の期間
8. 審査
9. 採択結果の通知と発表
10. 助成金の交付方法と期日
11. 助成金の使途
12. 募集する分野・疾患
13. 研究報告および会計報告
14. その他
15. 作成・改訂履歴

### ◎ 研究助成申請時の留意事項

1. 応募方法
2. 提出書類
3. 書類提出先
4. お問い合わせ先

## 2017年度 GSK ジャパン研究助成 募集要項

### 1. 研究助成の趣旨

「GSK ジャパン研究助成」は、医学・生命科学および関連する科学の領域における若手研究者の研究を支援します。

### 2. 応募者の資格および条件

- 2.1 応募する研究の代表者であること
- 2.2 2017年4月1日現在で39歳以下（生年月日が1977年4月2日以降）であること
- 2.3 所属する研究機関の所属長（部局長）の了解を得ていること（例：大学の場合は教授以上の役職者、病院の場合は病院長等）
- 2.4 研究機関に、当該研究機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者（有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わない。また、研究活動そのものを主たる職務とすることを要しない）であること
- 2.5 当該研究機関の研究活動に実際に従事していること（研究の補助のみに従事している場合は除く。）
- 2.6 大学院生等の学生でないこと [ただし、所属する研究機関において研究活動を行うことを本務とする職に就いている者（例：大学教員や企業等の研究者等）で、学生の身分も有する場合を除く]
- 2.7 寄付講座に所属する者でないこと
- 2.8 2014～2016年に「GSK ジャパン研究助成」の助成を受けていない研究者であること

### 3. 助成対象外の研究

- 3.1 日本国内で行われない研究
- 3.2 同一の研究について助成金を受けている研究（弊社以外の研究助成への応募を妨げるものではありませんが、他からの助成を受ける場合は弊社の助成対象者から除外されます。したがって、他からの助成を受けることが決定した場合は、速やかに当事務局にご連絡ください）
- 3.3 複数の研究機関による共同研究（複数の研究機関に助成金を分配して使用する場合は指します）
- 3.4 すでに実施済みの研究、もしくは現在進行中の研究
- 3.5 弊社および他社で販売している製品やその有効成分を使用する研究（ただし、疾患モデル作成や病態解明のために使用する場合は認められます）
- 3.6 疫学調査・疫学研究
- 3.7 臨床試験・臨床研究

#### 注意事項：

- 1) 研究を目的とした新たな試料の採取等、通常の診療を超えた医療行為が含まれる場合および通常の診療と同等の医療行為であっても、被験者の集団を2群以上のグループに分け、グループ間で効果等を比較する場合は本研究助成の対象外となります。
- 2) 胚または胎児の組織や細胞およびそれらから生成される細胞株等は助成対象外とし

ます。その他のヒト由来のサンプル（組織、血液、尿、DNA、等）を使用する研究は助成対象とします。ただし、関連する倫理指針等の遵守および応募者の所属する研究機関の倫理委員会の承認が必須になります。その承認が確認できる書類を PDF 化し、Web 申請の際にアップロードしてください。

- 3) 弊社製品、または、その有効成分を使用する研究、または、疫学調査・疫学研究の具体的な提案がある場合、本制度とは別の支援制度が **GSK** グローバルサイト (<https://iss.gsk.com/>) にございますのでご覧ください。

#### 4. 応募方法

応募者は募集要項に従って、応募受付サイト（Web 申請）からご応募ください。また、提出書類については、別添の「研究助成申請時の留意事項」をご参照の上、ご準備ください。

2017 年度 GSK ジャパン研究助成にご応募できる件数は 1 研究者 1 件のみとなります。

#### 5. 募集期間

2017 年 4 月 1 日（土）～ 2017 年 5 月 31 日（水）18:00 まで（申請 ID 発行完了）

#### 6. 助成金額および助成件数

助成金額は、一研究に対して 200 万円以内とし、助成件数は約 100 件です。

「12. 募集する分野・疾患」に示す各分野において募集し、助成する研究数は分野ごとの応募数により決定します。

#### 7. 助成する研究の期間

開始：「9. 採択結果の通知と発表」に記載する採択通知書の受領後からとします。

終了：2019 年 3 月 31 日までとします。

#### 8. 審査

- 8.1 応募受付サイトから登録された情報および提出された書類が本要項を満たさない場合には審査の対象となりません。
- 8.2 提出いただいた資料をもとに外部有識者で構成される審査委員会にて審査されます。
- 8.3 審査委員は募集する分野の専門家から選出されます。
- 8.4 審査は、「研究課題の独創性及び革新性」、「研究計画・方法の妥当性」、「研究課題の学術的重要性・妥当性」、「研究課題の波及効果及び普遍性」ならびに「研究経費の妥当性」の観点で行われます。
- 8.5 グラクソ・スミスクライン株式会社の社員が審査委員会に参加しますが、投票権は持ちません。

#### 9. 採択結果の通知と発表

2017 年 10 月下旬までに、申請書に記載されている応募者および、その所属する研究機関の所属長（部局長）宛てに採択結果を郵送で通知し、弊社ホームページ上で氏名と所属機関名を発表します。なお、個別の審査内容の詳細についてのお問い合わせに応じることはできません。

## 10. 助成金の交付方法と期日

交付方法：所属機関が指定する口座に助成金を振り込みます。

交付期日：2017年11月～12月を予定しております。

## 11. 助成金の使途

応募者はあらかじめ下記の点について、所属する研究機関からの合意を得てください。

- 11.1 研究助成申請書の記載通りの使用を原則とし、研究期間内に使い切ることとします。
- 11.2 助成金は応募者が所属する研究機関のみに振り込まれ、その研究機関のみで使用することとします。
- 11.3 助成金を使わなかった場合または助成金が余った場合は、原則、返却していただきます。
- 11.4 助成金の使途を変更する場合、または助成金対象の研究内容に重要な変更が生ずる場合は速やかに当事務局にご連絡ください。内容により審査委員会に諮ります。
- 11.5 建物等の施設・設備の整備費用、通常備えるべき什器（机・椅子等）、研究代表者および共同研究者ならびに職員の人件費、学会年会費、電子機器にかかる回線費用などに助成金を使用することはできません。その他以下の場合を含め、判断に迷う場合は研究助成事務局に事前にご確認ください。
  - ・PCおよび電子機器類（本研究に関連のない機器の購入、また複数台の購入は原則不可とします）
  - ・旅費（研究代表者が学会等で研究成果を発表する際の旅費は可としますが、研究代表者以外の旅費は不可とします）
  - ・機器の修理費用（本研究の継続のために修理が必須だと判断される場合以外は不可とします）
- 11.6 原則として設備備品の取得価格が50万円以上かつ耐用年数が1年以上の物品の購入には本助成金を使用できません。
- 11.7 研究経費全体の中で「旅費」の占める割合が25%以内、「その他」の占める割合が10%以内になるようにしてください。
- 11.8 「その他」については具体的な使途をすべてご記載ください。  
例：研究成果発表費用（学会誌投稿料など）、通信費 等
- 11.9 間接経費免除（オーバーヘッド）の取り扱いは、採択通知を受領された際にお申し出ください。ただし、「13. 研究報告および会計報告」に規定の通り、各研究機関で通常行われているレベルの会計報告を要しますので、免除に該当するかについては研究機関の担当部署にご確認ください。

## 12. 募集する分野・疾患

以下の分野カテゴリー毎に対応する対象疾患に関する研究が研究助成の対象となります。

分野カテゴリー	対象疾患	分野カテゴリー	対象疾患
A. 呼吸器疾患	気道閉塞性疾患(慢性閉塞性肺疾患など) 間質性肺疾患 アレルギー性肺疾患(気管支喘息など) 塵肺症 全身性疾患の肺病変 気管・気管支系疾患 胸膜の疾患 肺血管性病変	E. ニューロサイエンス疾患(精神)	うつ病・うつ状態 パニック障害 強迫性障害 社会不安障害 双極性障害 外傷後ストレス障害
B. 皮膚疾患	蕁麻疹 湿疹・皮膚炎 アトピー性皮膚炎 痒疹 皮膚そう痒症 慢性膿皮症 男性型脱毛症 原発性腋窩多汗症	F. ニューロサイエンス疾患(神経)	片頭痛 群発頭痛 てんかん パーキンソン病 眼瞼痙攣 片側顔面痙攣 痙性斜頸 上肢痙縮 下肢痙縮 斜視
C. 耳鼻咽喉疾患	アレルギー性鼻炎 血管運動性鼻炎 咽頭・喉頭炎 扁桃炎 外耳炎 中耳炎 副鼻腔炎 (好酸球性副鼻腔炎は除く)	G. 肺高血圧症	肺動脈性肺高血圧症
D. 泌尿器疾患	前立腺肥大症 膀胱炎 腎盂腎炎 前立腺炎 精巣上体炎(副睾丸炎) 尿道炎 性器ヘルペス バルトリン腺炎	H. 肝疾患	B型肝炎
		I. 感染症	リンパ管・リンパ節炎 乳腺炎 感染性肺疾患(肺炎・肺結核など) 麦粒腫 瞼板腺炎 化膿性唾液腺炎 単純疱疹 帯状疱疹 水痘 脳炎 髄膜炎 化膿性髄膜炎 新生児単純ヘルペスウイルス感染症 角膜炎 マラリア ニューモシスチス肺炎 インフルエンザ 多剤耐性緑膿菌感染症 表在性皮膚感染症 深在性皮膚感染症

### 13. 研究報告および会計報告

研究報告：

研究成果を外部に発表される場合は“「GSK ジャパン研究助成 2017（英文名：GSK Japan Research Grant 2017）」による 研究助成である”ことを明記していただき、発表された論文の別刷または学会発表のアブストラクトを当事務局宛てご提出ください。また、研究の進捗状況を 2019 年 4 月末までに当事務局宛てに提出することを必須としますが、論文投稿に関しては期間にかかわらず事務局宛に、ご報告いただく必要があります。また、研究の最終成果物を共有させていただく目的で研究成果報告冊子等を作成しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

会計報告：

使用された研究経費については、その使用を確認できる記録を可能な限り保管をお願いいたします。2019 年 4 月末までに会計報告書（書式：任意、証ひょう添付不要）を当事務局宛てに送付してください。また、弊社もしくは外部機関による監査が行われることがありますので証ひょう類の控は必ずお手元で保管をお願いいたします。なお、報告の際に証ひょう類は添付不要ですが、購入日、購入物品、購入先、購入単価等の詳細を会計報告書にご記載いただきますので、あらかじめご了承ください。

### 14. その他

- 14.1 助成対象者として相応しくない行為があったときは、助成をやめたり、研究助成金の返還を求めたりすることがあります。
- 14.2 個人情報とは本研究助成に関連する業務にのみ利用し、必要な範囲に限定して適切に取り扱います。
- 14.3 本研究助成に関しては「グラクソ・スミスクライン株式会社 医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に則り、弊社ホームページ上で研究助成先（施設名及び教室・講座名）・氏名・研究助成金額等の情報開示をさせていただきます。

### 15. 作成・改訂履歴

【2017 年 3 月 3 日作成】

- ・ 新規作成

【2017 年 5 月 12 日改訂】

- ・ 「別添 研究助成申請時の留意事項 2. 提出書類 ①研究助成申請書」の※1を「Web 申請の画面からダウンロードできます。」から「Web 申請で必要な情報を入力した後にダウンロードできるようになります。」に変更

以上

## 研究助成申請時の留意事項

応募に際しては「募集要項」を熟読の上、以下の事項に従ってください。

### 1. 応募方法

応募受付サイトで必要とされる情報を登録した後、申請IDの発行を受けてください。

[申請締切：2017年5月31日（水）18:00]

### 2. 提出書類

以下①および②の書類をご提出ください。提出後の書類の差替えは認められませんのでご注意ください。

[提出締切：2017年6月9日（金）必着]

① 研究助成申請書<sup>※1</sup>          研究代表者印、所属長印<sup>※2</sup> 必須

※1：Web申請で必要な情報を入力した後にダウンロードできるようになります。

※2：大学の場合は教授以上の役職者、病院の場合は病院長等の押印をお願いいたします。

② 研究助成金の施設受入に必要な所属機関の指定する申込書類（寄附申込書等）

ご提出は申込・支払手続きに遅延をきたさないように、申請書類に添付くださるようお願いいたします。なお、書式が電子媒体等の場合は別途メール（件名に申請IDを明記）に添付の上ご提出ください。

### 3. 書類提出先

〒151-8566

東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目6番15号 GSKビル 5F

グラクソ・スミスクライン株式会社 GSK ジャパン研究助成事務局 宛

注) 封筒の表に「研究助成申請書類在中」と朱書してください。

#### <書類送付時の注意>

- ・申請書類の送付の際は配達証明が出来る方法（特定記録郵便、簡易書留、宅急便、レターパックプラス等）で必ずご送付ください。
- ・送付方法の指定に伴い事務局から申請書類の受理のご案内はいたしませんので、必ず送付（控）は保管くださるようお願いいたします。
- ・上記の送付方法以外でご提出された場合の紛失等について、弊社では一切の責任は負いかねますのでご了承ください。
- ・採否にかかわらず申請書類の返却はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

#### 4. お問い合わせ先

本募集要項等に関するお問い合わせは、下記メールアドレスへ直接ご連絡ください。  
なお、弊社の営業およびマーケティングに所属する社員は、利益相反の観点から本研究助成に関するお問い合わせを受けることはできません。

グラクソ・スミスクライン株式会社

GSK ジャパン研究助成事務局

メールアドレス : [jp.gsk-grant2017@gsk.com](mailto:jp.gsk-grant2017@gsk.com)

以上

##### ◎申請内容の秘密保持

審査委員および研究助成に関する業務にあたる GSK 社員は、申請内容に関する秘密保持の義務を持ちます。

##### ◎ 個人情報に関する取り扱い

ご入力・ご記入いただいた個人情報は、研究助成に関する業務に利用させていただきます。また、個人情報の保護に関する法律、関連諸法令、関連省庁等のガイドラインを遵守し、当社プライバシーポリシーに則って適切に取り扱います。

当社プライバシーポリシーは、次のホームページからご確認ください。

<http://jp.gsk.com/jp/privacy-policy/>